かぶちゃん農園株式会社

長野県飯田市

明治150年

生産性向上　需要獲得　担い手確保　ものづくり　サービス

ポイント 「農村からたのしさを」をテーマに「食」素材にこだわり仕入先食品製造業を地域に残す

○後継者不在の酒造会社を円滑に引継ぎ、創業 150 年の地元ブランドを継承し、地域に残す
○南信州の特産品である市田柿（干し柿）のブランド化に成功し急成長
○新規事業による地元雇用の創出と施設の観光資源化による社会的貢献

企業基本情報

所在地	長野県飯田市川路 7592-1
電話 /FAX	0265-27-5055/0265-27-5039
URL	http://www.kabuchan.biz/
代表者	代表取締役社長 鏑木　武弥
設立	2004 年
資本金	10,000 万円
従業員数	53 人

会社概要

同社は飯田市で市田柿の干し柿製造販売を主力に急成長している企業で、地産品の品揃えを図っている。長野県事業引継ぎ支援センターの仲介で後継者不在の酒造会社市野屋商店 (大町市) から株式譲渡契約により事業を引継いだ。日本酒、甘酒のブランドが販売力のある同社により活かされるとともに、150 年続く老舗酒造場は観光資源としても地域活性化に貢献している。

会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

老舗酒造会社を円滑に引継ぎ商品ラインナップを強化

農産品の製造加工販売を手がけ、地域特産品の販売、品揃えをポリシーに事業拡大を図ってきた社長が、長野県事業引継ぎ支援センターの仲介により、後継者不在の老舗酒造会社から事業を引き継いだ。円滑な事業承継が実現したことにより、新事業が拡大。日本酒、甘酒の創業 150 年のブランドが継承されるとともに、杜氏をはじめ従業員の雇用維持が可能となった。また、歴史的価値の高い酒蔵の建物は観光資源として地域活性化に貢献している。

引継いだ酒造会社

南信州の特産品「市田柿」のブランド化に成功

長い間「知る人ぞ知る」存在であった南信州の「市田柿」の認知度を全国規模にまで高め、ブランド化に成功。これを機に地域内では「市田柿」を使った様々な商品の開発が進み、「市田柿」の商品価値が高まるとともに更なる需要の掘り起こしにつながっている。「市田柿」の需要が高まることで生産者の販売価格も上昇、地域の生産者の収入増にも貢献した。

また、社員食堂も兼ねているレストランでは、地元飯田川路の食材を使用し、地域の食材の紹介にも力を入れている。

「市田柿」のブランド化に成功

観光資源としての社会貢献と地元の雇用創出貢献

主力商品の柿照姫の増産体制、ヨーグルト製造、菓子製造などの新規事業にともない地元の雇用創出に努めている。行政との連携を図りながら毎年の新規採用に加え現在 20 名のパートの正社員化を進めている。

かぶちゃん農園が観光資源として社会貢献しているように、老舗酒造場市野屋が大町市の貴重な文化・観光施設に選定された際には、行政や観光協会、大町の他の酒蔵等との連携のもと、観光産業の担い手としても貢献していきたい考え。

柿照姫センター増築竣工式